

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総 合 版)

第 9 3 号

【平成 28 年 10 月 4 日(火)発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466

《目次》

1. 「獲るぞ！ 和牛日本一」来年の宮城全共に向けプレ全共を開催
2. 「今年もおいしいお米ができました」環境保全米新米試食会
3. 台風 10 号等の被災地を支援。県内一斉に募金運動を開始
4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 61 次請求

1. 「獲るぞ！ 和牛日本一」来年の宮城全共に向けプレ全共を開催

第 11 回全国和牛能力共進会宮城大会（宮城全共）の県実行委員会と宮城県畜産協会は、来年の本大会を見据えて 9 月 6 日から 10 日まで、プレ全共を開催しました。

毎年開いている宮城県総合畜産共進会を拡充し、肉用牛のうち肉牛の部は 6 日から 8 日まで仙台市中央卸売市場食肉市場で、種牛の部は 9 日から 10 日まで、美里町のみやぎ総合家畜市場で行いました。



自慢の牛たちが勢ぞろいした共進会（9 月 10 日、美里町で）

10 日の開会式では本番を想定して、種牛の部に出場した農家らが入場行進をしました。大会名誉会長の村井嘉浩県知事は「宮城全共での目標は、言うまでもなく日本一の獲得。地の利がある地元開催は絶好の機会なので、生産者の皆様には日本一獲得に向けてご尽力いただきたい」と激励しました。この日は、一般来場者向けイベントも行い、県内 19 市町がブースを出し、特産物を販売。「仙台牛」の試食や、各市町のご当地キャラクターが勢ぞろいし、ゲームなどで来場者を楽しませました。

なお、共進会の名誉賞には、種牛の部は単品で大崎市田尻の氏家邦佳さん、群出品で登米和牛育種組合、肉牛の部は登米市の金野康さんが選ばれました。

宮城全共は来年 9 月 7 日から 11 日まで開催。全国 39 道府県から、合わせて 517 頭が出品される予定で、約 39 万人の来場を見込んでいます。「仙台牛」ブランドを全国へ PR する他、宮城県の食・観光・物産・歴史文化などを全国へ発信、併せて東日本大震災からの復興と全国からの支援に感謝の気持ちを伝えます。

2. 「今年もおいしいお米ができました」環境保全米新米試食会

みやぎの環境保全米県民会議とＪＡグループ宮城は９月２８日、平成２８年産みやぎの環境保全米新米試食会を開きました。ＪＡ栗っこ産「ひとめぼれ」、ＪＡ古川産「ササニシキ」、ＪＡみやぎ仙南産「つや姫」の３品種を食べ比べし、宮城米のおいしさを確認しました。

県民会議のメンバーの他、中山耕一県議会議長や県議会議員、プロサッカーチーム・仙台ベガルタレディースとプロバスケットチーム・仙台 89ERS（エイティナイナイズ）の選手ら約 80 人が参加しました。

仙台 89ERS に加入したばかりの岐阜県出身の楯昌宗選手は「新米プレーヤーの楯です。宮城米に“ひとめぼれ”しました。これからもおいしいお米を食べて頑張ります」と、仙台出身の柳川龍之介選手と一緒に、宮城米にエールを贈りました。



新米 3 品種を食べ比べする参加者

3. 台風 10 号等の被災地を支援。県内一斉に募金運動を開始

台風 10 号等の大雨で、農作物や農業関連施設などに甚大な被害が発生した北海道や岩手県の被災地を支援しようと、ＪＡグループ宮城は 9 月 26 日から、県下一斉に募金運動を始めました。

一口 100 円を目安に、ＪＡ役員・管理職は 10 口以上、組合員とＪＡ一般職員には 5 口以上の募金を呼び掛けています。ＪＡの窓口などに募金箱も設置する。期間は□月□日まで。

募金はＪＡ宮城中央会が取りまとめ、ＪＡ全中対策中央本部と協議して被災地に贈ります。

4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 61 次請求

ＪＡグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は 9 月 30 日、第 61 次請求として東電に 5,710 万円を請求しました。

内訳は、牧草の利用自粛等にかかわる損害が 5,153 万円、牧草地の除染にかかわる損害が 547 万円などとなっています。

9 月 20 日現在、同協議会の請求総額は 323 億 6,965 万円。受領総額は 308 億 9,276 万円で、請求対比 95.4%となっています。